

# 高速道路ドライブアドバイザーの 取組みについて

中日本高速道路株式会社 保全企画本部 交通チーム

## 1. はじめに

NEXCO 中日本では、これまで交通集中による渋滞予測は Web サイトや交通混雑期の渋滞予測ガイドなどで広報してきたところであるが、お客様により安全で安心、快適に高速道路をご利用頂くため、既存の広報ツールや報道機関などを活用して路線特性、地域特性を踏まえたよりきめ細かな渋滞予測と渋滞回避のポイントなどの情報提供を実施し、よりお客様への訴求効果を高めるために「高速道路ドライブアドバイザー」（通称：ドライブアドバイザー）を配置した。各支社（東京、名古屋、八王子、金沢）から1名渋滞予測のプロとして

会社が認めた者を選出し、平成 29 年 4 月より活動を開始した。

本報文では、「高速道路ドライブアドバイザー」が活動を開始して1年経過したことから、これまでの取組み内容について報告するものである。

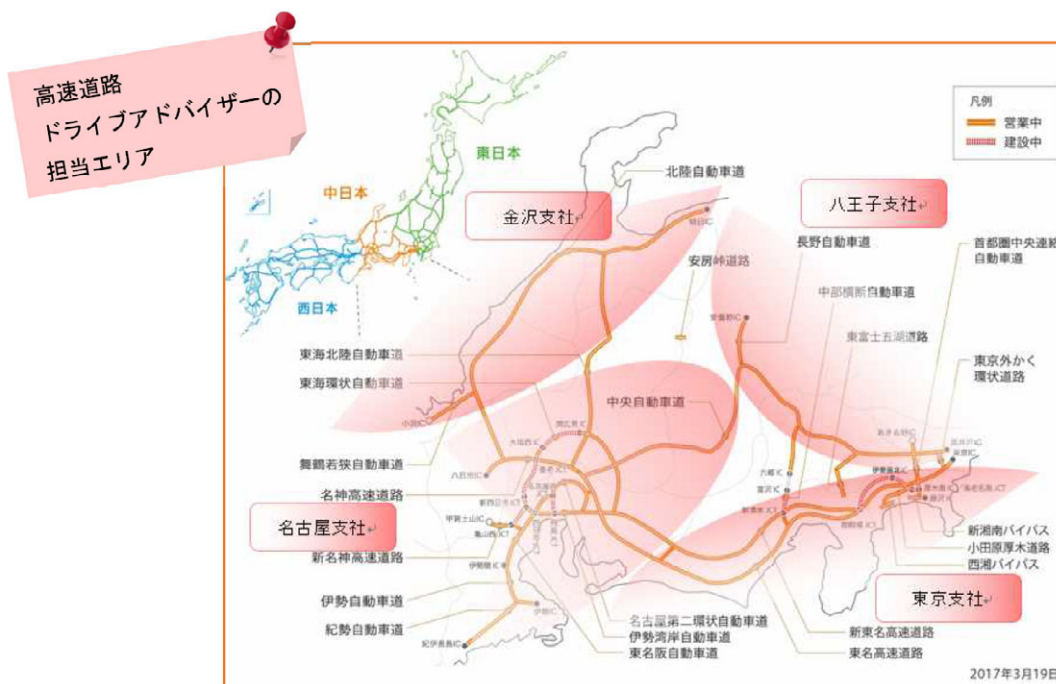


図1 高速道路ドライブアドバイザー担当エリア

表1 高速道路ドライブアドバイザー担当路線

東京支社	E1 東名（東京～豊川）、E1A 新東名（御殿場 JCT～新城）、E84 新湘南バイパス、E84 西湘バイパス、E85 小田原厚木道路、C4 圏央道（茅ヶ崎 JCT～相模原）
八王子支社	E19 長野道（岡谷 JCT～安曇野）、E19 中央道（岡谷 JCT～伊北）、E20 中央道（高井戸～岡谷 JCT）、E52 中部横断道、E67 安房峠道路、E68 中央道（大月 JCT～河口湖）、E68 東富士五湖道路、C4 圏央道（相模原～あきる野）
名古屋支社	E1 東名（豊川～小牧）、E1 名神（小牧～八日市）、E1A 新東名（新城～豊田東 JCT）、E1A 新名神（四日市 JCT～新四日市 JCT、亀山 JCT～甲賀土山）、E1A 伊勢湾岸道、E8 北陸道（木之本～米原 JCT）、E19 中央道（伊北～小牧 JCT）、E23 東名阪道、E23 伊勢道、E41 東海北陸道（一宮 JCT～白川郷）、E42 紀勢道、C2 名二環、C3 東海環状道
金沢支社	E8 北陸道（朝日～木之本）、E27 舞鶴若狭道（小浜～敦賀 JCT）、E41 東海北陸道（白川郷～小矢部砺波 JCT）

## 2. 具体的な活動

### ① 渋滞予測の実施

地域の交通特性を熟知し、過去からの渋滞発生状況やその原因の分析、ネットワークの開通状況、交通混雑期（ゴールデンウィーク、お盆、年末年始）の曜日配列、地域のイベントなどを考慮し、渋滞する日時や場所、渋滞の長さ、渋滞が継続している時間、所要時間などを予測。

### ② 渋滞回避ポイントの抽出

渋滞の発生する日時や場所、渋滞の長さや所要時間などから地域に密着した渋滞を回避するためのポイント（地域の大きなイベント日をずらす、時間帯をずらして移動する等）を抽出する。

### ③ 渋滞予測、渋滞回避ポイントを分かりやすく伝えるための動画制作及び情報発信

これまで実施していた紙媒体での情報発信（渋滞予測ガイド）に加え、渋滞予測情報や渋滞回避ポイントの内容をより多くのお客様へ、より分かりやすく伝えるため3分程度の動画を制作し渋滞予測特設サイトでの配信、休憩施設でのデジタルサイネージでの放送、動画共有サービス（Youtube）を活用した動画配信を通じてより多くのお客様へ情報を発信



図2 渋滞回避ポイント例1



図3 渋滞回避ポイント例2

### ④ パブリシティ枠を通じた情報発信

渋滞予測、渋滞回避ポイントをより多くのお客様に伝えるため、渋滞予測記者発表時に記者クラブに高速道路ドライブアドバイザーが赴き、渋滞予測の内容をよりきめ細かく伝えるとともに渋滞回避ポイントを図表などを用いて説明し、できるだけ記事に取り上げられるよう努めている。これまでは渋滞予測結果が新聞記事となる程度であったが、高速道路ドライブアドバイザーの取組み以降、テレビ番組への出演、ラジオ出演、新聞掲載、旅行雑誌専門誌への記事掲載などに繋がり、詳しく渋滞予測や渋滞回避ポイントなど取扱って頂き、より多くのお客様へ情報を発信できたものと考えている。



図4 マスコミへの説明状況

### 3. 情報発信の成果

平成 29 年 GW より本格的な活動を開始し、お盆、年末年始、平成 30 年 GW と 4 回の交通混雑期で情報発信を実施。詳細活動は下表のとおり。

表 2 情報発信の活動状況

	H29			H30	合計
	GW	お盆	年末年始	GW	
テレビ出演	---	16 回	9 回	10 回	35 回
新聞掲載	8 回	13 回	32 回	7 回	60 回
ラジオ出演	---	3 回	1 回	3 回	7 回
雑誌掲載	---	---	1 回	---	1 回
その他	---	---	2 回	2 回	4 回

TV 出演 35 回、新聞掲載 60 回、ラジオ出演 7 回などマスコミに取り上げられることが多くなり、お客様への訴求効果が増したものと考えている。

例として、以下に平成 30 年 GW の主なマスコミへの出演状況を示す。

・ H30GW 主なマスコミへの出演状況 TV10 回 (NHK、TBS、日本テレビ、テレビ朝日、NHK 名古屋、東海テレビ、メ-テレなど) 新聞 7 回 (東京スポーツ、中日新聞 (福井)、読売新聞 (富山・福井) 北國新聞など) ラジオ 3 回 (エフエム富士、FM 長野、@ FM) その他 (日産公式 Facebook、CATV の J:COM デイリーニュース)
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

また、平成 29 年 11 月に、WEB アンケート調査を実施し、「高速道路ドライブアドバイザー」の認知度を確認しており、その調査結果を以下に示す。

アンケート調査結果

認知度 41% (対象：週 1 回以上高速道路を利用する者 n=392)

調査時期が 11 月であることから GW とお盆の 2 回の交通混雑期しか経ていないが、認知度 41%であった。今後同時期に調査を実施し継続的に認知度を確認していく予定である。

### 4. 最後に

これまでは渋滞予測を実施し、記者発表、渋滞予測ガイドなど紙媒体での広報が中心であったが、高速道路ドライブアドバイザーを設置し、渋滞予測のプロがいるということをお客様に知って頂く為、渋滞予測の内容をよりきめ細かく伝えるとともに渋滞回避ポイントを図表などを用いて分かりやすく説明するという積極的な広報に取り組んだ。その結果、多くのお客様に訴求することができたと認識している。今後は、高速道路ドライブアドバイザーの活動を継続するとともに、更に多くのお客様に訴求できるよう広報の工夫を考え対応していきたい。